

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	企画・表現基礎	科目名	ポートフォリオ制作	科目コード	D1222B2
配当期	前期・ 後期 ・通年	授業実施形態	通常 ・集中	単位数	1単位
担当教員名	塩濱 将悟	履修グループ	1K(DA/DV/MC/SC)	授業方法	演習
実務経験の内容	映像制作会社にて10年間勤務した経験を活かして、就職活動に向けた有効な作品制作やポートフォリオの制作手法について実践的に講義する。				
学習一般目標	ポートフォリオを作る目的を認識し、クリエイティブ業界へ就職する為のポートフォリオとして、自分が目指す方向性やセンス、経験、技術レベルを採用側にアピールする為のページ構成を行うことが出来る。 非常に多岐に亘る映像業界において、自分の目指す分野に適応したポートフォリオの形を作成していく手順を理解する。				
授業の概要および学習上の助言	クリエイティブ業界では、履歴書や人間性の他に各専門分野における“ポートフォリオ”の作成が必須となります。具体的な目標(希望する職種や企業)を認識したうえで、求められる作品群やどのような構成が好まれるかなどの需要をリサーチし、情報を収集しておく必要があります。この科目では、ポートフォリオを完成させることを目標にしていません。あくまで就職活動時に有効なポートフォリオの制作方法を理解し、自身のスキルアップや就職活動に活かせる知識を養う科目です。				
教科書および参考書	採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳				
履修に必要な予備知識や技能	シラバスの授業の概要および学習上の助言を理解したうえで授業に臨んでください。				
使用機器					
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1.2	希望職種に対し情報収集から需要を考え、対応する為のポートフォリオを企画し、制作に取り組むことが出来る。			
	1.3	各種専門就職で自分をアピールできるポートフォリオの形をおよそ完成させる。			
	1.4	テーマ・コンセプトに沿ったポートフォリオを制作することが出来る。			
	1.4	各作品のキャプションにおいて、テーマやコンセプトなどを理論的に記述解説することが出来る。			
	1.5	インターネット等を活用し、海外サイトのチュートリアルや作品などの情報を積極的に収集し、ポートフォリオ制作に活用することが出来る。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合							90	10	100
	学部 D P	1.知識・理解						50		
		2.思考・判断						10		20
		3.態度						10		20
		4.技能・表現						10		30
		5.関心・意欲						10	10	30
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ	ひな型の作成 自身が今後どのような制作物(数、内容)が必要かを理解できること								
	その他									

授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週	オリエンテーション ポートフォリオの重要性 レイアウトの基礎	講義	
第2週	ラフの作成 先輩の作例を参考に	実習	
第3週	ラフの作成 先輩の作例を参考に	実習	
第4週	ラフの作成 先輩の作例を参考に	実習	
第5週	手書きポートフォリオの作成	実習	
第6週	手書きポートフォリオの作成	実習	
第7週	手書きポートフォリオの作成	実習	
第8週	ファイリング	実習	
第9週	ファイリング	実習	
第10週	ファイリング	実習	
第11週	ファイリング	実習	
第12週	ファイリング PF 提出	実習	課題提出
第13週	作品制作	実習	
第14週	作品制作	実習	
第15週	作品制作	実習	課題を返却します